

館山市地域公共交通網形成計画 事業スケジュール・進捗状況一覧表

基本方針	施策の方向性	施策	進捗度合い*	内容
1. 市街地における回遊性の向上（重点方針）	1. 市街地内及び地域間をつなぐ公共交通の機能強化	市街地循環バス導入	○	R2～R4にかけて計3回の実証運行を実施し、R5.6より「かいまーる」として本格運行を行っている。
		既存バス路線の見直し	△	重複区間の整理やイオン乗り入れ等、利便性が高く効率的な形態を目指し協議検討し、可能であれば見直しを実行する。
	2. 鉄道駅や交通結節点の機能強化	館山駅各施設の利便性向上	△	R2より民間での取組が始動しており、再整備計画策定・活性化に向けた検討を行い、可能であれば実行する。
		集客施設等におけるバス待ち環境整備 館山駅での鉄道・バス等の接続改善 JR内房線無人駅の活用	△ △ △	R2に安房塩見バス停が完成、その他の商業施設等でのバス待ち環境向上に向けた検討を行い、可能であれば実行する。 各路線のダイヤ改正等に合わせ、随時見直しの検討、実施する。 利活用に向けた検討を実施する。
2. 隣接自治体との広域的な連携の推進	3. 南房総市と一体となった公共交通ネットワークの機能強化	平群線・丸線の見直し	○	R2～R4にかけて計3回のチョイソコ実証運行を実施し、R5.10より本格運行を開始した。
		白浜千倉館山線の見直し 高速バスの活用とパークアンドライド駐車場の整備	○ ×	R3～R5にかけて適宜ダイヤ見直しを行い、今後も利用状況の検証や、改善策検討を継続する。 行政、事業者と協議検討を続ける。
3. 主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築（重点方針）	4. 地域が関わる新たな交通システムの導入	住民ニーズに応じた豊房線再編見直し	○	R4～R6にかけて、買い物シャトルやチョイソコでの実証運行を行ったが、地域に適さなかったため、既存路線を維持させつつ、新たな形態への移行を検討する。
		ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討	○	R3に富崎・西岬地区でのGSM、神戸地区での買い物シャトルの実証を行い、R4からは富崎ぐるっとバスの本格運行を開始し、神戸地区でも同様の取組が始まっている。
		自動運転車両の導入研究	×	国や他地域での動向等情報収集を続ける。
4. 観光二次交通の整備・確保（重点方針）	5. 沖ノ島や海岸沿いのアクセス確保	GSMの活用による鏡ヶ浦回遊ルートの設定	×	GSMにこだわらず、鏡ヶ浦周辺を楽しく巡れる魅力的な仕組みを検討する。
		観光周遊バス導入	×	行政、事業者と協議検討を続ける。
	6. 既存路線の観光客対応	南房パラダイス～相の浜の運行復活	×	R2時点では相の浜まで延伸されたが、利用数減少によりR6.3より千里の風まで運行が短縮された。
		フリー乗車券や乗継割引等導入 貨客混載の検討	○ △	R2にフリー乗車券の販売を開始、その後検討を続けR5からはWebで購入可能な企画乗車券の販売を開始した。 R6に実証実験として、JA安房との協力の元、バスタ新宿での貨客混載物品販売イベントを実施した。
5. 高齢者等支援制度の確立	7. 高齢者等の外出支援促進	タクシー運賃補助の導入	×	他の施策との兼ね合いを見ながら検討する。
		日用品移動販売の検討	○	先行事例の研究や事業者とのヒアリングを経て、R4より千葉薬品(ヤックス)による移動販売サービスが開始、継続されている。
		運転免許返納者向け施策の周知強化 公共交通のメリット等に関する周知	△ △	市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う。 市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う。
6. 公共交通を利用しやすい環境の整備	8. キャッシュレス化の推進	タクシーのキャッシュレス化	○	市内事業者対応済。
		バスのキャッシュレス化	○	R3より市街地循環バスの支払いにPayPayを導入、R6には市街地循環バスでクレジットカードのタッチ決済を導入。その後R7の4月1日時点で市内全路線での交通系ICカードの導入が完了した。
	9. 分かりやすい運賃制度の導入	ゾーン制など、分かりやすい運賃体系の導入	×	ゾーン制のみならず、定額乗車券など、分かりやすく利用しやすい運賃制度の創設を行政・事業者と協議検討を続ける。
		バスやタクシー車両のバリアフリー化促進	○ ○	循環バス本格運行に合わせR6.5よりノンステップ車両を導入した。 バス、タクシー事業者への働きかけ等を通じバリアフリー化を進める。
	10. ユニバーサルデザインの導入	案内表示等の多言語化推進	△	駅や車両等の各種案内表示多言語化を継続して進める。
		Google Map等におけるバス・鉄道時刻等の情報発信強化	○	R2に市街地循環バスのGTFS-JPデータを作成、更新を継続中。その他乗換検索サイト等への情報掲載は概ね完了 以後は常に最新情報が掲載されるよう行政・事業者にて内容確認を行う。
		MaaSに関する取組着手	○	R5よりスマホ乗車券の販売開始した。
	11. 公共交通に関する情報発信の強化	南房総市と連携したバス路線マップの製作	△	路線見直し状況等を踏まえ、最適なタイミングでマップを製作する。
小中学校における路線バスの活用推進		×	学校現場や保護者等の意見や方向性を踏まえ、路線バスの活用を働きかける。	
スクールバスの活用検討		×	乗車定員や保護者の意見などから、混乗化が難しい状況。	
12. 公共交通の通学利用促進	高校生及び保護者に向けた公共交通利用呼びかけの実施	○	市内3高校新入生への案内チラシ配布を継続して実施する。	
	7. 公共交通により親しんでもらうための施策展開	13. モビリティ・マネジメントの実施	×	継続して検討する。
		14. 家族で公共交通に親しめる施策の実施	△	市の広報やホームページ等を通じ情報発信を行う。
		家族で楽しめるバスや鉄道の乗り方教室開催 ファミリー向け割引制度の導入	○ ×	R3に西岬小学校で公共交通乗り方教室を実施、今後もイベント開催を事業者と行政で検討していく。 定額乗車券販売等を検討する際、ファミリーにお得な制度設計を合わせて検討する。

*進捗度合いについては、以下の基準にて事務局により判定した
 ○：事業完了
 △：事業実施中
 ×：事業未着手